

平成20年度予算に対する 各党派の意見表明・討論

平成20年度一般会計ほか、7特別会計予算を審査するため、今定例会初日に議長を除く全議員により、予算特別委員会(委員長 小川けいこ、副委員長 野沢彰)を設置し、11日間にわたり慎重かつ厳正な審査を行いました。

各党派から出された意見表明・討論の要旨は、次のとおりです。

独立60周年を礎に未来に希望の持てる区政を 練馬区議会自由民主党(14人)

景気の先行きに不安が指摘される中、平成20年度練馬区一般会計予算および7特別会計予算に賛成の立場から意見を述べる。区政史上最大規模の大型予算であり高く評価する。また、自立的な財政運営に、より一層取り組まれることを強く要望する。以下、各款ごとに意見・要望する。

【総務費】
①地域防犯・防火連携組織の着実な拡充を。②防災センター設備更新を。③練馬駅北口有地の建設運営は民間活力、民間資本を取り入れた方策を。④団塊世代の大量退職により退職金の増大が懸念される。人件費の増大が他の施策に影響しない努力を。⑤日大光が丘病院を増床可能な用地に移転を。⑥新たなアスベスト対策は分析と確実な工事を。

【区民費・産業地域振興費】
①債権回収の一元化と訪問収納の民間委託を。②工業振興策の充実と工場設置認可制度の構築を。③クリーニング業

や運送事業者への臨時的な支援策を。④やる気のある商店街への支援策の強化を。⑤観光農園のPRと開園の指導を。

【保健福祉費】
①災害弱者宅への警報器の支給と町会自治会等での警報器共同購入推進を。②子ども発達支援センターの早期整備を。③保健所の緊急時の24時間対応を。④食品の安全・安心のために食品関連業者の取り組みに積極的に支援を。⑤福祉園の委託化の推進を。⑥妊婦健康診査の公費負担を14回まで拡充を。

【児童青少年費】
①子育ての広場は身近なところに設置し、事業内容の充実を。②民設子育てのひろば事業の担い手である地域団体の育成を。③児童クラブの運営は、早急な委託化を。④児童館の委託化と小学校内移設後の児童クラブ跡室の充実を。

【環境清掃費】
①豊玉リサイクルセンターを区の中核的なセンターとして

設置を。②大泉リサイクルセンターの設置にあたっては高速度高架下等の有効活用を。③清掃リサイクル事業は、関係事業者の活用を拡大を。④太陽光やバイオマス燃料の調査、研究を。⑤有機資源の有効活用の事業展開を。

【都市整備費・土木費】
①火災等被災者の生活再建のため、緊急支援を早期に実施を。②江古田駅北側、北町地区の密集住宅市街地整備の更なる事業促進を。③江古田駅、石神井公園駅、氷川台駅、小竹向原駅のバリアフリー施設整備を。④地下鉄大江戸線は大泉学園町までの延伸に向け要請活動を。⑤大泉町、大泉学園町間の補助30号線の事業認可に更なる努力を。⑥田柄の公務員宿舎跡地を公園用地として取得を。

【教育費】
①年間35時間の道徳授業時間数の確保を。②武道の必修化には地域の指導者の活用を。③区民体育大会の更なる支援体制を。④総合体育館の改築

計画を。⑤練馬区マラソンの検討を。⑥部活動の更なる支援策を。⑦顧問教員の引率でなくても大会参加できる制度の構築を。⑧不登校児童の支援を。⑨校長の再任用を含め人材の確保を。⑩新規採用の教職員は人物重視を。⑪小学校低学年の基礎学力の向上を。⑫宿題の取り組みの調査・研究を。⑬給水設備等改修工事の更なる取り組みを。⑭普通教室の空調機設置には区内事業者を。⑮特別支援学級は、保健、医療、福祉、保育などの連携体制の強化を。

【公債費・歳入・特別会計】
①地方財政健全化法の施行に向け、財政規律の強化を。②外環の南伸を都、国に働きかけを。③外環の地域PIの運営は、地元要望・要求を受け止め、対応を。④新座市をはじめ隣接市と共同し、閑雑自動車道にスマートICの早期整備を。⑤補助135号線の南伸は、補助22号線と交差する大泉第二中学校への対応が重要。地元関係者への丁寧な対応を。⑥給食の自校調理化の着実な推進を。⑦総合調理場跡地の有効活用を。⑧給食調理業務の全校民間委託実現を。⑨介護予防事業は、敬老館と連携を。

金積立額と起債残高のバランスに配慮を。⑤暫定税率継続の働きかけを。⑥財源を確保し妊産婦健診の完全無料化を。

【総務費】
①災害時の緊急一時避難施設増設と宿泊延長、災害見舞金の増額を。②階段用避難車の取扱訓練の実施と周知を。③公共施設予約システムを他施設にも拡大を。④安全・安心メールで児童の下校時に見守り依頼メールの配信を。⑤練馬駅に設置された電光掲示板に安全・安心メール情報を。⑥照姫まつり、練馬まつり開催情報のメール配信を。⑦FMねりま開設の検討を。⑧新基本構想審議会は懇談会の公募区民を引続き参加させ区民と議会の意見を充分に反映を。

【区民費・産業地域振興費】
①AED設置は明確に分かる対応で取納強化を。③エコマナー推進で商店街活性化を。④町会、自治会掲示板の建て替え支援を。⑤コンサルタント派遣で商店街活性化を。⑥父母が共有できる場にベビーカー設置を。⑦クレジットによる税金取納を。⑧農業の担い手不足の解消を。

【保健福祉費】
①一般不妊治療を区の助成対象に。②交流電圧電位治療器を可能な限り設置を。③敬老館は親しみやすい名称に。④緊急通報システム利用の拡大策を。⑤20年度中に妊婦健診完全無料化の実現を。⑥インターネットによるがん検診の

したもので高く評価する。以下、予算特別委員会における意見・要望を述べる。

【都区財調・財政計画】
①区民ニーズに応える需要額算定を。②特別交付金の活用で大泉地域に病院を誘致し病床不足解消を。③わかりやすい財政白書の作成を。④基

予約を。⑦高齢者見守り事業の協力員は有償で。⑧3月にも女性の健康週間の実施を。⑨スローピング健康法導入を。

【児童青少年費・環境清掃費】
①全児童対象の放課後子どもプランを強力に推進すべき。②緊急時の児童クラブ入所を。③児童館へのランドセル来館実施を。④成人の日のつどいを充実し、併せて葉っぱい基金推進を。⑤保育園待機児解消のため年齢別定員の見直しを。⑥廃食油回収の周知を。

【都市整備費・土木費】
①氷川台駅エレベーター設置を。②自転車誘導員は夕方まで配置を。③石神井公園駅地下通路の安全管理を万全に。④練馬区役所西側の歩道拡幅を。⑤自転車運転マナーや賠償内容を明示したポスターで自転車事故防止の啓発を。

【財政、都区財調、歳入等】
①昨今の景気動向、大規模改修、税制改正等が続く状況では、負債削減と基金充実を。②事業部制による予算編成の成果が不明確。③三位一体改革後の低所得者層を懸念。税金納付や財政への影響の精査を。④納税催告封筒を工夫し、多重債務相談等の債務者対応を強化を。⑤施設目的や立地条件等を考慮した使用料設定を。

【総務費、関連特別会計】
①指定管理者や受託業者の管理に係るシステムを庁内統一に。②異動・昇格時の実務・現場研修を。③避難所生活を想定したペット訓練の推進を。④友好都市関係の実質再開とオリンピック開催後の北京市海淀区とのスポーツ交流を。⑤若者の投票率低下を懸念。青少年が参加する模擬選挙を。「選挙セーラー」等、地域連携による選挙啓発を。⑥土地開発公社の先行取得は慎重に。

【区民費、産業地域振興費】
①出張所の地域情報コーナーは、区政ニーズの積極調査と幅広いコミュニケーション創設の拠点に。②NPO活動支援センター事業の役割を更に明確に。③産業振興策の事後検証が不十分。④観光案内所は来客を待つスタイルから脱却を。⑤

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

アニメーションに関わる学術拠点を誘致・設置しては。

【保健福祉費、児童青少年費、関連特別会計】
①介護給付適正化の推進は、利用者や家族への啓発、良質なサービス維持を目的に。②社会福祉事業団の研修等を積極活用し、介護従事者の人材育成を。③有償在宅サービスの育成支援を。④認知症高齢者および家族の精神的ケアを。⑤障がい者や内部障がい者への理解を深める研修を全職員に。⑥生活保護の金銭給付のみを強調せず、正しい知識啓発を。⑦第3子誕生祝金の事業効果が不明確。早急に見直しして妊産婦健診の無料化、待機児童解消、子育て支援施設充実へ。⑧委託した区立保育園3園を徹底検証し、保護者説明や事業者選定の時期を明記した「ガイドライン」の作成を。⑨ジュニアリーダー講習会修了生を青少年委員等へ。

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

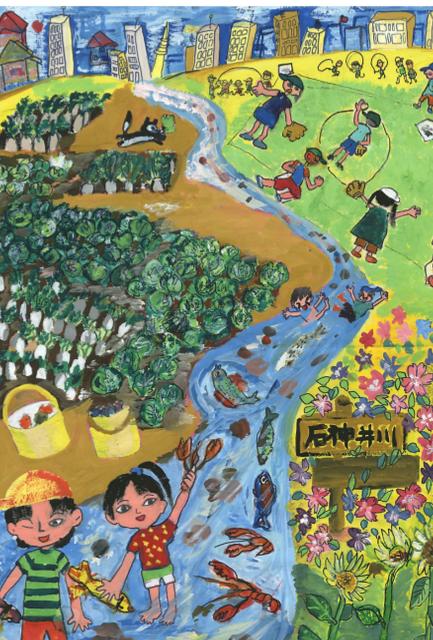
【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫



未来の練馬区 作文・絵画「コンクール(小学5・6年生の部) 最優秀賞(笑顔と緑の練馬区)」 上石神井小学校6年 土屋真貴

健全な財政で安全・安心な区民生活の確立を 練馬区議会公明党(12人)

平成20年度練馬区一般会計予算および7特別会計について賛成する。

幼児用自転車ヘルメットの購入助成、廃食油の資源化事業の開始、区立小中学校と幼稚園に空調機設置、放課後子どもプランのモデル事業の推進等は、公明党の要望が実現

【都区財調・財政計画】
①区民ニーズに応える需要額算定を。②特別交付金の活用で大泉地域に病院を誘致し病床不足解消を。③わかりやすい財政白書の作成を。④基

【環境清掃費】
①区の温暖化ガス排出抑制目標を京都議定書に併せ、家庭でも取り組みを。②ISO14001の内部監査を通じ、各部署で環境配慮の創意工夫

施策の検証なくして、明日の練馬は語れない 民主党練馬クラブ(10人)

事業執行の効果を検証していないものがある。主体性が

ない点は残念。厳しく検証し、必要であれば見直しを求め



予算特別委員会

を。③マイ管運動を区役所から。④温暖化防止の観点から緑化を。⑤エコアドバイザー育成後のスキルアップ強化や環境カレッジ開催時期の工夫を。⑥都にみどり保全の要請を。⑦電線地中化や自転車専用道を設け交通安全を。⑧積極的に河川改修を。⑨コミュニティバス全路線で65歳からの乗車割引を。また、車内や車体に広告の掲載を。⑩タウンサイクルの見直しを。

611億円の基金活用し困難深める区民を守れ 日本共産党練馬区議団(6人)

08年度一般会計予算と国保、介護保険、後期高齢者医療の4特別会計予算に反対する。練馬区は、貧困と格差の劇的拡大に苦しむ住民の願いに背をむけ、福祉を守る自治体本来の魂を投げ捨てている。第一に、区民を応援する抜本対策を実施する姿勢がない。住民税減免を行わず、生活保護も16億円削減、後期高齢者医療も必要な制度と主張、国保料を引き上げ、介護の見直しもせずに、住民合意のな

【教育費】 ①小中一貫教育カリキュラムの全容を早期に。一貫教育は「一体型校」を。②学級経営補助員を非常勤職員に。③特別支援教育は人権教育や社会性の育成に重点を。④教職員の精神性疾患対策を。⑤日銀グラウンドの積極的活用と小中学校施設の積極利用を。⑥普通教室への空調機設置は長期メンテナンスを想定し、迅速に対応できる業者の選定を。

07年度は17億円の余もある。この豊かな財政力を使い区民の暮らし、福祉、営業を守れ。②低所得者への負担増への軽減策実施を。③原油高騰から区民を守るため、1万円以上の支援を。④多重債務等への相談窓口を設置し対応を。⑤出張所の地域コミュニティ機能強化し、機能縮小やめよ。⑥住民サービス低下とプライバシー侵害につながる事業仕分けと市場化テスト中止を。⑦住基ネットからの離脱認めよ。⑧軍事優先から、非核・平和の事業推進を。⑨アニメ発祥の地・練馬にふさわしい取り組みの抜本的強化を。⑩都市農業を守るため相続制度の改善と予算措置強化を求めよ。⑪妊婦健診を14回まで無料にし、出産一時金を50万円

くらしはどんなのか!?暮る不安 生活者ネットワーク(3人)

今、区民が求める安心・安全は、社会保障制度の改善に対するセーフティネットの強化、再構築だ。本来的な「区民福祉の向上」ではない予算に反対。 ①地域防犯防火情報拠点「民間交番」ではない。警察のまねごとはやめよ。地域住民の情報拠点は、たすけあいやコミュニティの視点で取り組むべき。 ②地域コミュニティ支援機能は、地域団体や個人にも必要。 ③善行表彰、名誉区民表彰は、基準があいまいで恣意的なのでやめよ。 ④リハビリや日中独居など施策の扶間の実態把握と対応を。 ⑤光が丘第四保育園の事業者が選定なしになった。保護者と協議し委託計画の見直しを。

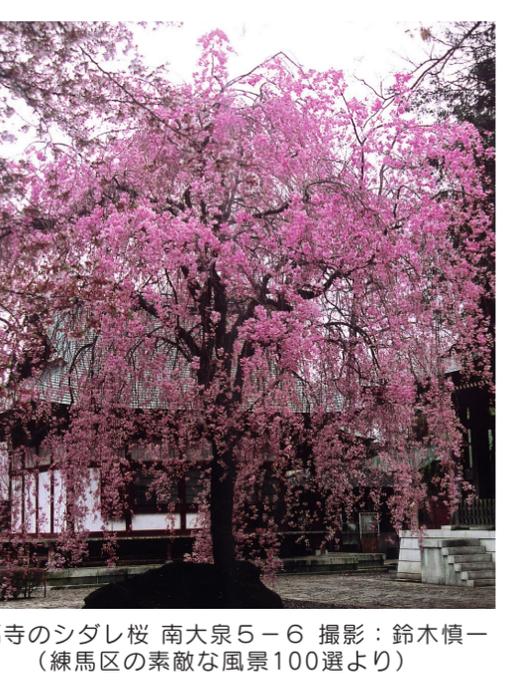
に引き上げを。⑫順天堂練馬病院の4人部屋差額解消を。⑬医療過疎練馬に新病院誘致を。⑭区立保育園と学童クラブ新増設で待機児をゼロにし、サービス低下の委託化撤回を。⑮学校統廃合やめ30人学級の段階的実施を。⑯上からの教員いじりをやめ、教育条件の整備こそ図れ。⑰学力テスト結果公表と学校選択制による競争と差別・選別の押し付けやめよ。⑱100円で乗れて交通不便を解消するコミュニティバス運行を直ちに図れ。⑲個人住宅耐震改修助成は使いやすなものに充実を。⑳各駅のバリアフリー化を仮設でも図れ。㉑住民合意のない青梅街道IC設置や地上部街路整備をやめさせ、八の釜湧水の保全を前提に計画の見直しを図れ。

区民生活の悪化と負担増にきめ細かな施策を 社民党練馬区議団(1人)

一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療会計に反対。区民生活の悪化と負担増、国の社会保障の後退の中で、「必要となるに必要な施策を」となっていない。後期高齢者医療制度は高齢者の医療の切り捨てであり反対。以下、要望する。①新基本構想策定では幅広い意見を構築策定では幅広い意見を構築

2千108億円の巨額一般会計予算執行を次々と民間に業務委託。光が丘体育館管理業務で受託業者の確認を怠り、丸投げされた業者から再委託の申請がないため正規業者が業務を担当と判断。丸投げ呼ばわりされるのは心外と生涯学習部長が議会で開き直りの答弁。ホームレス施設事業でも

「投資シフト」あつため、区民の暮らし向上に 市民の声(1人) 業経費を急増させるなど、区民の期待から遠ざかっている。



妙福寺のシダレ桜 南大泉5-6 撮影：鈴木慎一 (練馬区の素敵な風景100選より)

平成20年度予算に対する各会派の態度

Table with columns for political parties (自民党, 公明党, 民主党, 共産党, 生活ネット, 緑自治, 社民党, オンブズ, 市民の声) and rows for budget items (会計, 一般, 国民健康保険事業, 介護保険, 後期高齢者医療, 老人医療, 用地, 公共駐車場, 学校給食). Includes a legend for赞成 (O) and 反対 (X).

後期高齢者医療制度を是とする姿勢も遺憾。自治と暮らしを支える原点に立つべき。②随意契約の透明化・適正化を。③NPO支援センターはネットワーク型委託を見直すこと。④通学介助は保護者の休息のための利用を認めること。 ⑤外出介助や同居世帯の生活援助の利用制限を改めること。 ⑥清掃一組財政を圧迫する練馬清掃工場の建て替え中止を。 ⑦04年度道路交通センターに基づく外環整備効果の再検証を。 ⑧特別支援に携わる学級経営補助員の非常勤化を。